

APEXセミナー(東京)テーマ一覧

回	日程	題目	講師(敬称略)
1	1987.4.12	インドネシア、小さな民の村落産業	水野広祐 (アジア経済研究所)
2	1987.4.25	曼陀羅模様の世界～アジア学のすすめ	鶴見良行 (評論家)
3	1987.5.17	東南アジアのセルフ・ヘルプ・ハウジング	布野修司 (東洋大学助教授)
4	1987.6.26	日本近代技術の形成と第三世界	中岡哲郎 (大阪市立大学教授)
5	1987.7.25	都市の出稼ぎ労働者の暮らし～インドネシアを例として	福家洋介 (愛知学泉大学講師)
6	1987.11.27	フィリピン社会と政治不安	福島光丘 (アジア経済研究所)
7	1987.12.12	漂流民の海	門田修 (写真家)
8	1988.1.23	チャチャイさんから見た日本	チャチャイ・ラチャスワン (タイ留学生)
9	1988.2.27	インドネシアにおける大衆小説の世界	押川典昭 (翻訳家・東京外国語大学講師)
10	1988.3.20	教室にアジアの風を吹き込もう	大津和子 (高校教員)
11	1988.4.30	YABAKAのスウォンド、フェリさんを囲んで	スウォンド、フェリ (YABAKA)
12	1988.5.21	人間らしい住居作り～スラムでのたたかい	ホルフェ・アンソレーナ (イエズス会)
13	1988.6.20	タイの農村開発・最近の動き～スリン県タサワン村の事例	野崎明 (東北学院大学教授)
フィールドワーク	1988.7.9	フィールド・ワーク“風の学校”へ行こう	中田正一 (風の学校)
14	1988.7.25	タイの工業化と急展開する日タイ投資関係について	末廣明 (大阪市立大学教授)
フィールドワーク	1988.10.1	フィールド・ワーク タイ料理を食べながらタイ文化を語る	戸田杏子 (タイ料理研究家)
15	1988.11.19	アジアの人々は日本をどのように見、また感じているか	スリチャイ・ワンガエーオ (チュラロンコン大学準教授)
16	1988.12.10	アジアからの出稼ぎ労働者問題	内海愛子 (恵泉女学園大学教授)
17	1989.1.28	日本のNGOの現状とアジアのNGOとのかかわりについて	伊藤道雄 (NGO活動推進センター)
18	1989.3.6	私の事業と歩いてみたインドネシア	鹿島博文 (山陽ポリ総業社長)
19	1989.4.15	インドネシアの小さな産業の育成	水野広祐 (アジア経済研究所)
20	1989.5.27	わやん(影絵芝居)の基本と人生観	松本亮 (日本ワヤン協会)
21	1989.6.12	東部ジャワの農村開発について	ファリッド・アアーマッド (ヤヤサン・エクソ会員)
22	1989.7.22	天安門事件以後～中国はどこへ行くのか	矢吹晋 (横浜国立大学教授)
23	1989.10.21	ジャワ農村事情	加納啓良 (東京大学助教授)
24	1989.11.18	最近のラオス事情	野口賢一 (ラオスの子供達に絵本を送る会)
25	1989.12.16	アラフラ海渡航記	藤林泰 (楸メコン)
26	1990.1.20	日本国際ボランティアセンター(JVC)の10年～JVCの試行錯誤	岩崎駿介 (JVC代表・筑波大学助教授)
27	1990.2.17	シャブラニール(=市民による海外協力の会)はなぜ続いているか	福沢郁文 (シャブラニール代表)
28	1990.3.24	文化を中心とした海外活動	吉川健治 (曹洞宗ボランティア会(SVA))
29	1990.4.22	「なまこ」の眼から見た世界	鶴見良行 (龍谷大学教授)
フィールドワーク	1990.5.20	フィールド・ワーク ご夫妻の生き方に触れる・田植えをする	土屋芳久・佳代 (山武をアジアに開く会)
30	1990.6.16	ODAの虚像と実像	鷺見一夫 (横浜国立大学教授)
31	1990.9.8	第三世界のマングローブ林破壊～ミャンマーを例として	向後元彦 (東京農業大学客員研究員)
32	1990.10.20	見てきたインドネシア	千葉理恵、伊藤修一 (研修生)
33	1990.11.24	炭の効用と第三世界	岸本定吉 (炭焼きの会代表理事)
34	1990.12.15	サヘルを緑に	杉野二郎 (サヘルの会)
35	1991.1.26	第三世界と適性技術としての風車	牛山泉 (足利工業大学教授)
36	1991.2.23	東南アジアのスラムとウサギ小屋	布野修司 (東洋大学助教授)
37	1991.3.16	アジアの女性とともに生きる	広木道子 (アジア女子労働者センター)
38	1991.4.20	アジアの女性労働者から見た日本	福島瑞穂 (弁護士)
フィールドワーク	1991.5.18	フィールド・ワーク 森清さんとともに旋盤工場を見学する	森清 (羽生田鉄工技術顧問)
39	1991.6.29	ジャワ農村の儀礼と慣行に見る生活倫理	関本照夫 (東京大学東洋文化研究所助教授)
40	1991.7.27	日本企業とアジアの女性たち	遠野はるひ (東京都外人労働者相談員)
41	1991.10.26	YABAKAの人々との一ヶ月間	竹内歩、松岡武 (研修生)
42	1991.11.16	エスニシティー・民族・ナショナリズム	山崎カヲル (東京経済大学教授)
43	1991.12.14	政変に揺れ動くビルマ	根本敬 (東京外国語大学助手)
44	1992.1.25	ソ連解体、その原因と今後の展望	塩川善信 (東京大学農学部助手)
45	1992.2.22	日本文化の根底にあるもの～「百姓」と農民	網野喜彦 (神奈川大学短期大学部教授)
46	1992.3.28	進むアジアの工業化と日本の立場	森清 (評論家、羽生田鉄工技術顧問)
47	1992.4.25	アジアの歩き方～アジアにおける国境・サバを事例として	鶴見良行 (龍谷大学教授)
48	1992.6.6	熱帯林の回復と土壌の改良	蟻木翠 (東京農業大学教授)
49	1992.7.11	ブラジル地球サミット～NGOの新たな展開	古沢広祐 (目白学園女子短大教授)
50	1992.10.24	インドネシア・スマラン市で暮らした一ヶ月	山口香、遠藤敦子 (研修生)
51	1992.11.21	ピースポートするで!	辻本清美 (ピースポート主催者)
52	1992.12.18	カンボジア問題を考える～自衛隊ではなくNGOを	岩崎駿介 (JVC代表)
53	1993.1.23	ピープルズプラン21世紀～タイ会談が目指したもの	井上礼子 (PARC運営委員長)
54	1993.2.20	従軍慰安婦問題にみる戦後賠償	西野留美子 (フリーライター)
55	1993.3.13	内発的発展とは何か～その今日的意義	鶴見和子 (上智大学名誉教授)
56	1993.4.24	アジアの法秩序とその問題点	木村泰樹 (中央学院大学教授)
57	1993.5.22	バリ芸能の人類学～クレオール文化の可能性	山下晋司 (東京大学助教授)
58	1993.6.12	インドネシア都市緑化の試み	富田正信 (東京農業大学講師)
59	1993.9.18	ボランティアの力の危うさ～ボランティア・サポートの必要性	金子郁容 (一橋大学教授)
60	1993.10.23	インドネシア・スマラン市で過ごした一ヶ月	中村郁子、加藤知夫 (研修生)
61	1993.11.18	内発的発展論と非営利の経済～社会的ヨーロッパの建設	西川潤 (早稲田大学教授)
62	1993.12.13	ODAと草の根の海外協力	北沢洋子 (国際問題評論家)
63	1994.1.22	企業社会とボランティア～複線型人間への転換	磯部祐三 (富士ゼロックス)
64	1994.2.26	インドネシアの政治状況～取材を通じて	浅野健一 (共同通信外信部)
65	1994.4.23	インドネシアの環境衛生とコンポスト化	北脇秀敏 (東京大学客員助教授)
66	1994.5.14	バリ芸能の経済学～「楽園」の下部構造	山本宏子 (東京国立文化財研究所)
67	1994.6.18	インドネシア文化事情～メディア・イスラム・大衆文化	小川忠 (国際交流基金)
68	1994.7.30	企業の社会貢献・これから	出口正之 (サントリー文化財団)
69	1994.10.22	大学生が見てきたインドネシア～APEX研修生報告	富永大徳、下坂友香 (研修生)
70	1994.11.19	クボラ～ジャワの大衆演劇	風間純子 (上智大学・大東文化大学講師)
71	1994.12.3	インドネシア語とはどんな言語か～比較言語学の視点から	土田滋 (東京大学教授)
72	1995.1.28	マニラのスラムに住む	中西徹 (東京大学教授)
73	1995.2.4	花岡事件と戦後補償～戦後補償問題とその背景	内田雅俊 (弁護士)
74	1995.3.4	田舎町から世界を見ると～若い人たちに元気を出してもらえれば	土屋芳久 (山武の宇宙農民)
75	1995.4.23	アジアの環境問題と水処理適性技術	宇井純 (沖縄大学教授)
76	1995.5.9	廃プラスチック再生～私の実践	鹿島博文 (サンポリ社長)
77	1995.6.17	震災ボランティアの現実問題	末村祐子 (曹洞宗国際ボランティア会)
78	1995.7.15	劇場発・アジアの中の日本劇団	木村快 (現代座代表)
79	1995.10.14	大学生がみてきたインドネシア	樹田宗一郎、永山優美 (研修生)
80	1995.11.18	教えられなかった戦争～フィリピン編	高岩仁 (映像文化協会)
81	1995.12.16	日本占領期のインドネシアと戦後賠償	倉沢愛子 (名古屋大学教授)

APEXセミナー(東京)テーマ一覧

回	日程	題目	講師(敬称略)
82	1996.1.20	韓国中国最新事情～経済を中心に	魯洗旭(助手:孟建軍)(東京工業大学研究員)
83	1996.2.24	アジア・太平洋経済協力の進展とASEAN WAY	高木功(創価大学助教授)
84	1996.3.30	開発と女性～アジアの女性の現状と北京女性会議から	伊従直子(アジア女性資料センター)
85	1996.4.13	NPO法どうなるNGO活動	松原明(市民活動を支える制度をつくる会)
86	1996.5.25	PP21カトマンドウ会議の報告と今後の民衆運動の目指すところ	武藤一羊(PP21日本コーディネーター)
87	1996.6.15	インドネシアの音楽文化	皆川厚一(亜細亜大学講師)
88	1996.7.6	22234人・インドネシアの元従軍慰安婦達	川田文子(戦後補償実現市民基金)
89	1996.10.12	大学生の見たインドネシア	小野瀬貴久、加藤亜矢子(研修生)
90	1996.11.16	薬害再発防止の提案～エイズ事件・水俣病から日本を考える	後藤孝典(弁護士)
91	1996.12.7	食のオルターナティブとフェアトレード	堀田正彦(オルタナティブジャパン代表)
92	1997.1.18	食料サミット報告～そして食の地域自立を考える	古沢広祐(國學院大学教授)
93	1997.2.8	ケジラと生きる	江上幹幸(青山学院大学講師)
94	1997.3.30	インドネシアにおけるイスラム文化～開発・近代化との関連	中村光男(千葉大学教授)
95	1997.4.19	パティックを作ってきた人たち～その労働・経営・市場について	関本照夫(東京大学東洋文化研究所教授)
96	1997.6.21	ダムはもういらぬ～ODAと国内公共事業	鷺見一夫(新潟大学教授)
97	1997.7.26	外国人も市職員に！～川崎市国籍条項撤廃までの道のり	皆川敏明、高村賢司(川崎市総務局人事部)
98	1997.10.18	大学生の見たインドネシア	榎本よし乃・腰原藍(研修生)
99	1997.12.6	総選挙後のインドネシア:スハルト後はどうなる	大形利之(東京農大非常勤講師)
100	1998.1.31	インドネシアのNGOはなぜ活発なのか:NGOをめぐる経済システム	水野広祐(京都大学助教授)
101	1998.3.21	JVCの18年とインドネシア:NGOの役割	熊岡路矢(JVC代表)
102	1998.4.25	現代バリ社会における「伝統医療」について	大橋亜由美(京都文教大学助手)
103	1998.5.23	貧困と公共資源:アマルティア・センをヒントに	佐藤仁(東京大学大学院国際社会学科)
104	1998.6.27	ベトナムのマンガロープ支援	向後元彦(砂漠を緑に)
105	1998.7.25	インドネシア5月政変:軍とゴルカルの動向	大形利之(東京農大非常勤講師)
106	1998.10.30	「経済危機と改革の中のジョグジャ」	小野邦彦(早稲田大学大学院)
107	1998.12.3	「経済危機下のインドネシアから戻って」	倉沢愛子(慶応大学経済学部教授)
108	1999.3.27	「ハビビ政権の内政と対外関係」	首藤とも子(駒澤大学法学部教授)
109	1999.4.24	「APEX1999年春季研修生派遣報告」	田島巧也・杉田布美子・成田由香子(1999年春の研修生)
110	1999.5.22	「ジョグジャで日本語を教える」	荒川宣子(日本語教師)
111	1999.6.26	「融けあうパティックと友裡」	荒井里美(染色家)
112	1999.7.24	「インドネシア総選挙と今後の政局」	深尾康夫(亜細亜大学講師)
113	1999.11.11	「変動のインドネシア-大統領選のゆくえ-」	倉沢愛子(慶応大学経済学部教授)
114	1999.12.18	「公私融合」の仕事術	森清(山野美容芸術短期大学)
115	2000.1.29	「脱原発エネルギー社会の構想」	藤田祐幸(慶応義塾大助教授)
116	2000.2.19	「中国の環境危機を考える」	李志東(長岡科学大学助教授)
117	2000.4.8	「インドネシアの環境問題」	作本直行(アジア経済研究所主任研究員)
連続講座	2000.5.28	「アジアの環境問題の現在」	石弘之(東京大学教授)
連続講座	2000.6.10	「水循環型社会の構築」	森田豊治(荏原総合研究所社長)
連続講座	2000.6.17	「環境技術の移転と創造」	植田和弘(京都大学)
連続講座	2000.6.24	「21世紀の科学技術を考える」	中岡哲郎(大阪経済大教授)
連続講座	2000.6.3	「再生可能型エネルギー社会の構築」	牛山泉(足利工業大)
118	2000.9.30	「アジアをめぐる古着とゴミ」	富家洋介(大東文化大助教授)
119	2000.10.26	「国際協力のための水処理技術入門」	福田文治(セキスイエンバイロメント技術顧問)
120	2000.12.16	「いま、インドネシアは」	村井吉敬(上智大学外国語学部教授)
121	2001.1.25	「地球を救うエネルギー・メニュー」	西尾漢(原子力資料情報室共同代表)
122	2001.2.17	「中国における環境技術移転の実践」	定方正毅(東京大学工学部教授)
123	2001.3.15	「インドネシア、開発とNGO」	アントン・シヤルウォ(DEAN DESA財団ディレクター)
124	2001.4.15	「インドネシアで若者が感じたもの」	小川貴子・小島千穂・田中亜紀(2001年春の研修生)
125	2001.5.25	「南アジアと日本のNGO事情」	大橋正明(恵泉女子大学)
126	2001.6.30	「自然・人間の共存と技術の未来」	星野芳郎(技術評論家)
127	2001.9.28	「頓挫したレフォルマシー 前大統領の罷免とメガワティ政権の意味」	加納啓良(東京大学教授)
128	2001.11.21	「水俣病の科学」	西村肇(東京大学名誉教授、シシス主宰)
129	2001.12.20	「グローバル化と東南アジア」	渡辺泰造(青山学院大学教授、元インドネシア大使)
130	2002.2.28	「自然エネルギー普及の現状と政策上の課題」	飯田哲也(「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク代表)
131	2002.3.30	「21世紀の環境を支える水・土・緑と日本文化」	富山和子(立正大学教授、日本福祉大学客員教授)
132	2002.7.27	「東ティモール独立後の課題と展望」	松野明久(大阪外国語大学助教授、大阪東ティモール協会事務局長)
133	2002.8.31	「東南アジア島嶼域の海民の暮らしと漁業・養殖業」	北窓時男(アイ・シー・ネット(株)コンサルティング部研究員)
134	2002.10.5	「バイオマスエネルギーと循環型社会の形成」	横山伸也(産業技術総合研究所 中国センター所長)
135	2003.2.1	アジアの環境問題を見る・考える～水と衛生の視点から	原田秀樹(長岡科学大学助教授)
136	2003.4.12	アチー女性たちの視点で考える停戦意図後の新たな局面ー	佐伯奈津子(NINDJA事務局長、PARC理事)
137	2003.7.10	イスラム法からみたインドネシアのNGO	中村緋沙子(文教大学国際学部教授)
138	2003.9.13	ネットワーク論からみたインドネシアのNGO	荒木徹也(日本大学国際学部・日本学術振興会特別研究員)
139	2003.12.6	グローバル化時代における日本のNGOの現在と今後	伊藤道雄(JANIC理事兼国際・特別事業担当ディレクター)
140	2004.3.25	東ティモール コーヒーのフェアトレード	井上礼子((特活)アジア太平洋資料センター代表理事)
141	2004.5.8	2004年インドネシア総選挙ー何が変わり、何が変わらないのかー	松井和久(アジア経済研究所地域研究センター参事)
142	2004.7.24	インドネシア豊かな光・大地からのバイオマスエネルギー開発	田中直(APEX代表)
143	2004.10.30	インドネシアの水環境を守る	田中直(APEX代表)
144	2004.12.4	「パートナーシップ」による国際協力は可能か	下澤嶽(シャプラニール理事)
145	2005.3.5	京都議定書の発効と日本のエネルギーの未来	吉岡齊(九州大学比較社会文化研究院教授)
146	2005.5.21	アフガニスタン、ソボボ～紛争の地で出会った人々～	長倉洋海(写真家)
147	2005.9.19	ユドヨノ政権の一年	加納啓良(東京大学東洋文化研究所教授)
148	2005.12.10	「グローバル化時代の戦争と平和」	武藤一羊(ピープルズプラン研究所共同代表)
149	2006.2.25	バイオマス利用と持続可能な社会の形成	泊みゆき(バイオマス産業社会ネットワーク代表)
150	2006.5.13	バイオマスエネルギーを人々の手に	田中直・堀尾正朝(APEX代表・東京農工大学BASE教授)
151	2006.7.15	NGO活動と互助互恵 ー真に豊かな社会を築くためにー	陣崎淑子(埼玉大学名誉教授)
152	2006.11.6	開発途上国のサニテーション(環境衛生)	北脇秀敏(東洋大学国際地域学部)
153	2007.2.23	村と戦場、二つの前線に立って考えてきたこと	熊岡路矢(日本国際ボランティアセンター理事)
154	2007.5.20	世界から貧しさをなくす自然エネルギーの使い方	田中優(未来バンク事業組合理事長)
155	2007.9.29	日本近代技術の形成をめぐって～現代の途上国の問題とどうつなげるか～	中岡哲郎(技術史家)
156	2007.12.1	途上国に役立つCDM事業とは	吉高まり(三菱UFJ証券株式会社)
157	2007.12.12	途上国における技術移転・森林減少の現状と今後の課題	加藤真(海外環境協力センター)、日比保史(Ciジャパン)
158	2008.5.26	定常型社会ーアジアにおける新しい「豊かさ」と、環境・福祉ー	広井良典(千葉大学法経学部教授)
159	2008.8.29	インドネシアのバイオ燃料～石油からバイオ燃料への転換～	パンパン・ルディアント(和光大学経済経営学部教授)